私の大切なキャンプ

私は北海道つぼみの会のキャンプに毎年参加しています。今年は残念ながらキャンプはありませんでしたが、もしあれば4回目の参加でした。

キャンプでは同じ病気の子が集まり、3泊4日同じ施設に泊まり、楽しいゲームやイベントをしたり、病気の勉強などもします。

新しく友達もできるし、ご飯もおいしいし、あっという間に時間が過ぎてしまいますが、とても満足します。やっぱり同じ病気の友達がいると、気持ちが分かり合えるので安心します。私にとってキャンプは、とても大切な時間で、そして安心できる場所です。

一緒に参加した親の方々も、病気の勉強をしたり、日々の想いを話し合えたりします。

そんなキャンプですが、私は年に1回でいい

と思っています。なぜかというと、年に何度もキャンプがあると頑張ろうという気持ちが少なくなってしまうような気がするからです。来年のキャンプを「楽しみ」に待つ気持ちが、毎日の大変な血糖値のコントロールを頑張ろうと思えるからです。

これから中学生になったりしてもこのキャンプには「プレヤング」として参加したいと強く思っています。プレヤングのお姉さん達は、みんな仲良しでとても楽しそうでした。プレヤングのお姉さん達がやっていた司会や企画なども挑戦してみたいです。

今後キャンプに期待する事は、もっとグループで楽しめる競技があるとたくさんの人と話せるので、そういう企画があるといいなと思います。

私は、キャンプで大切なものを得たと思います。自分の夢がはっきりしてきた事です。私は将来看護師になりたいです。

キャンプで一緒のお部屋になったお姉さん

達は、将来看護師や保健室の先生を目指す学生の人達でした。みなさんすごく優しくて素敵な人達だなと思いました。私もお姉さん達のように、みんなの役にたって、苦しんでいる人達を助けて元気にしたいと思います。

　これからも、このキャンプを続けてほしいと思っています。